

私は、9月5日の夜に新宿をバスで出発したそれからの4泊5日間を、島根県の北に浮かぶ隠岐諸島の島前という地域で過ごし、国内研修を行いました。そして、今回の島前での国内研修で、学び、感じたことを、島の魅力を踏まえ5日間の活動に分けて以下にまとめます。

1日目の活動

1日目はほとんどの時間を移動で過ごしました。新宿から夜行バスで13時間かけて島根県にある松江駅まで向かい、それから30分間ほどバスを使って港に行きました。そして港からフェリーに乗って約2時間をかけ隠岐諸島やっと思岐諸島に到着しました。移動だけで正直疲れたのですが、何よりも島の人と早く交流したい、島の生活を体験したい、島の魅力を感じ取りたいなどとても前向きな気持ちで参加することができました。昼ごはんを食べてから、法政大学3年の近藤さんの家に訪れ2日目に活動する「ヒトツナギ」と呼ばれる島前で行っているまちづくり政策の予習をしました。その後、島前高校に訪れ、ヒトツナギ部の顧問の先生である中村さんと次の日の打ち合わせとヒトツナギ部の抱える問題を聞きました。夜は、近藤さんのご家族と地域の人と共に海鮮バーベキューを2隻つなげた船の上で行いました。

1日目の反省

1日目で得たことは、ヒトツナギとは人と人を1つにツナグ、プログラムであり、5年前には観光甲子園でグランプリをとっていること、またこのプログラムは全て高校生が運営していることです。しかし、このヒトツナギは問題を抱えています。この問題とは1回目のヒトツナギのような活気が失われ地域との交流も薄くなっていることです。

私は、ヒトツナギのような魅力ある活動にまた活気が芽生え地域との交流も積極的に行ってほしいと感じました。

2日目に行うプレゼンには、大学生はサポートに入るだけですが、積極的に高校生にアドバイスをして地域住民と高校生が交流しやすい環境を作ろうと決心しました。

また、夜に行った海鮮バーベキューでは感じたことがありました。それは、1隻は学生だけでも1隻は島の人々だけと別れて行うことになりせっかくの交流の機会をなくしてしまったことです。私たち学生は遠慮気味だったので積極的に関わっていくことが大切だと感じました。

2日目の活動

午前中は高校生がプレゼンのリハーサルを行い、私たち大学生は高校生にアドバイスをしました。昼ご飯は、高校生と一緒に食べました。午後からはプレゼンを終えた後、島の人々との意見交換会を行いました。

2 日目の反省

私たち大学生は主にサポート役として参加して感じたことは、リハーサルの際にアドバイスしたことが本番では活かされていたことと地域住民の方は、自分の住む島に関心をもっており島を良い方向にしようとする積極的な姿勢がみられたことです。

私が感じたヒトツナギ部の課題は、島出身の部員を増やしていくことです。島外出身の生徒が多いということは、これまでにヒトツナギ部が築いてきた財産なのでとても良いことだと感じます。しかし、島出身の生徒が島の魅力を伝えていくことの方が大切だと感じるからです。何よりも島の人たちも島外出身の生徒が多いよりも島出身の生徒が多い方が嬉しいのではないかと思います。意見交換会では、島の人たちはもっと高校生に頼りたい、思っていることは積極的に実行しないと時間がない、フォローしてくれる人は、たくさんいるから失敗を恐れなくてほしい、失敗をしてヒトツナギ部全体をこれまで以上に魅力的なものにしてほしいという声が多くあがっていました。今回のことを通して、まず高校生には島の人たちが参加してくれたことを当たり前だと思わないでほしいです。また、これからのヒトツナギ部を良くしていくために、島の人たちに積極的にアプローチしてほしいです。

3 日目の活動

午前中は中学校に訪れ中学生との交流をした後、西ノ島の観光地である外浜海水浴場と国賀海岸に訪れました。

3 日目の反省

私は、中学生と交流をして、中学生は大学生にあまり積極的に質問してこないと感じました。途中からは、緊張もほぐれ趣味や出身地、大学生生活の話をしたり中学生に今後の進路についてアドバイスをしたりしました。今回のことを通して、自分の今までの振り返りや島に住む中学生の考えも知ることができたので充実した時間を過ごすことができたと思います。また私がアドバイスしたことをこれからの進路に少しでも役立つことができれば嬉しいです。午後からの観光地巡りをして感じたことは、外浜海水浴場は透き通る程海の水が綺麗なことに驚かされ、国賀海岸は道に牛や馬が歩いていることにめずらしさを感じました。2つとも驚かされる場面がたくさんあり、とても魅力的でした。しかし外浜海水浴場は浜辺にゴミがたくさん落ちていて国賀海岸は道に牛や馬の糞が落ちていたので、せっかくの観光地なのにもったいないと感じました。ボランティアを集いゴミや糞の掃除をして、しっかり管理することができれば、これまで以上に観光地として魅力あるものになるのではないかと感じました。

4 日目の活動

午前中、午後と海士の観光地巡りをしました。(家督山、明屋海岸、隠岐神社、隠岐総合開

発センター)

夜からは、法政大学、立命館、高校生合同の夢ゼミを行いました。

夢ゼミとは、大学に行きたい大学に行かせたい高校生や保護者のニーズに合わせた学習センターです。将来、島と島外のつなぎ手になる人材を育てることを目標にし、毎週テーマを決めて様々な人と関わり意見を出し合っている場です。

4日目の反省

私は、夢ゼミとはこれから夢に向かっていく高校生の視野を広くさせ島全体を良い方向に向かわせるための場だと感じました。ここにいる高校生は何か1つ夢中になっているものがあり、そのことについて、積極的に話しかけてきます。私が、アドバイスをするとしつかりとメモをとっていたことに私が高校生だったときと学習する姿勢が違うことに感心しました。また、先生が静かに手をあげて話し終わるのを待っていてもすぐに静かになるので、まわりが見えていると感じました。

島前合宿の活動を通して

私は、島前合宿を振り返って島前とは繋がりを大切にする島だと感じました。

高校生だけで運営する「ヒトツナギ」は、参加する人たちを絶対に観光地に連れて行かないという斬新なアイデアで島の魅力と島に住む人の温かさを感じさせ、夢ゼミでは、これから夢に向かって挑戦していく高校生に知識と自信をあたえていました。

私は、この合宿で出会い、繋がりの大切さを学び良い経験ができました。